

台湾北部におけるオフィス用宅配水のリーディングカンパニー、赫德利国際

赫德利国際股份有限公司(以下、赫德利)は水処理事業からスタートし、後に医療用水及び飲料水市場に参入した。創業から既に30年以上の歴史を有し、ボトル水“頂好(MaxPure)”を主力商品とし、台湾北部にて配送をメインとしたオフィス向け宅配水のリーディングカンパニーである。現在は、同業事業者と連携することで台湾全土に販売ネットワークを構築している。今回は当社の徐総経理を訪ね、事業の現況や経営戦略、今後の事業展開についてお話を伺った。



赫德利国際股份有限公司 徐美瑀総経理

一水の特化企業である赫德利公司

赫德利公司は1980年に設立され、今年で創業35年になります。設立当初は、水処理用の設備・機械を製造していましたが、その後台湾の薬品会社と合併で蒸留水工場を設置し、医療用蒸留水をメインに台湾の医療機関及び関連施設を対象とした関連水の提供を始め、正式に水ビジネスに参入しました。その後、1985年には産業用超純水及び飲料水の両事業も開始、現在はウォーターサーバー用のボトル水が当社の主力商品となっています。

通常宅配水の販売は、ウォーターサーバーも一緒に販売するのが一般的です。水を配達する過程で必然的に消費者とコンタクトするため、ウォーターサーバーの販売やアフターサービスの必要性が生じます。このため台湾では多くの宅配水企業がウォーターサーバーの販売事業にも参入することを検討しています。当社も水関連製品のエキスパート企業となるべく、1999年にウォーターサーバーの調達及びサービスセンターを設置しました。また、大量仕入れによる廉価な商品提供を目指し、多数のブランドのウォーターサーバーを取り扱い、メンテナンスサービス等も提供し、消費者へのサービスクオリティを高めています。

一自社ブランドの販売をメインに、OEM事業及び取次販売も実施

当社は現在ミネラルウォーター、温泉水、機能水、純水の4品目を、MaxPureというブランドで販売しており、それぞれ240cc、3ガロン、5ガロンの3サイズを取り揃えています。

またこうした自社ブランドのボトル水販売の他、当社が持つ台湾全土の販売網を活用し、他社のボトル水の取次販売も行っています。現在、悦氏・埔里・伊萊等の台湾地場ブランドを取り扱っています。

この他OEM事業も行っており、顧客のニーズに合わせた研究開発を実施し、様々なボトル水を生産しています。元々当社は水処理用の設備・機械を製造していた関係で、多種多様な生産機械のオーダーメイドが可能であり、顧客の様々なニーズに合わせたOEMサービスを提供しています。

一台湾北部のオフィス向けをメインとした水宅配企業

台湾の水ビジネスにおいて、特に家庭向け宅配水の市場は参入が難しい分野です。水関連製品(宅配水、浄水設備等)が数多く存在し、且つ販売チャネル(コンビニ、量販店、スーパー、インターネット販売等)も多様化していることに加え、台湾では依然としてエレベーターが設置されていないマンションが多く存在します。こうした市場環境から、家庭用に特化した水宅配で成功している事業者の話はあまり聞いたことがありません。このため、台湾の多くの水宅配事業者はオフィス向け(B2B)をメインにチャネル開拓を行っており、当社も同様に多くの企業に配送しています。具体的には、福特汽車(フォード・モーター)、台湾高速鉄道、南山人壽、松山空港、国軍桃園医院等があり、現在台湾全土に60,000社(北部40,000社)のクライアントを有し、業界屈指の事業規模を誇っています。

ボトル水の配送は、重量のある商品を直射日光に晒すこ

台湾トップ企業

となく、品質を維持しながら配達しなければならず、容易な作業ではありません。このため配送スタッフの育成や品質管理には特に力を入れています。当社は商品やサービスを提供する上で物流の重要性をよく認識しており、このため配送業務を外部に委託することはしていません。また自社専用の物流センター及び配送車両を整備しており、車両も全て自社で購入しています。現在、台湾全土に計80車両(北部に40車両)を所有しており、同業他社よりも高待遇で配送スタッフのモチベーションを高め、質の高い物流を維持しています。

積極的に生産設備を更新、商品認証も取得

当社は元々、水処理設備を手掛けていたこともあり、安定した品質の製品を消費者に提供することを最重要に考えており、製造プロセス、設備に関しても細心の注意を払っています。2001年には米国の水生産設備及び技術を導入し、自社製品の質を更に高めています。また、認証制度も積極的に導入を進めており、2005年にはISO認証を、2008年には国際食品安全認証を取得し、台湾の水製品製造事業者として初の認証取得企業となりました。

また事業の拡大に伴い、自動化生産設備の導入も積極的に進めています。日本の技術を採用した、全自動化されたクリーンルームにおいて、1時間で5ガロンボトルを計2,100本製造可能な新しい工場が2014年より正式に稼働しており、現在台湾で最大規模のボトル水工場となっています。なお、こちらの新工場についても台湾食品工業発展研究所が発行する認証やISO22000、HACCP、TAF等の認証を取得しています。

同業他社との連携により台湾全土の販売ネットワークを構築

前述したように、ボトル水宅配事業は物流が非常に重要な鍵を握っています。このため、当社では自社の配送チームを整備することで、サービスクオリティの更なる強化を図っています。しかしながら、地理的な条件で台湾全土の市場を開拓することは困難であり、こうした問題を解決すべく、2006年には同業他社との連携により台湾全土の生産・販売ネットワークを整備しました。現在、北部・中部・南部・

東部にある計5ヶ所のISO22000及びHACCP取得済みの飲料水工場と連携しています。これらの工場はどれも当該地域で最大規模を誇る工場であり、地元の顧客に寄り添い、迅速な配送・サービスを可能にさせており、またウォーターサーバーについても全面的なメンテナンスサービスを提供しています。

日本企業との連携機会を積極的に模索

当社は、2014年に日本の技術を採用した新工場を稼働させ、生産力を拡大しましたが、今後も引き続き生産ラインを拡張させていく予定です。今回日本の設備を導入した経験から、今後も引き続き日本の関連技術や設備を導入していきたいと考えており、とりわけ日本の最新ボトル容器や製造設備等での事業連携に関心を持っています。

またこうした設備導入の他、当社のOEM事業の強みを活かした事業連携についても日本企業と実施できればと考えています。2011年に発生した東日本大震災の際は、日本国内の飲料水が不足したため、当社の商品を日本に輸出したこともあります。今後は様々な形で日本企業との連携を進め、共に日台における水関連市場を開拓していくことができればと考えています。

ありがとうございました

赫德利国際(股)有限公司の基本データ

会社名	赫德利国際股份有限公司
設立	1980年
董事長	徐志恒
資本金	2,530万台湾元
売上高	3.5億台湾元
従業員	80名
事業内容	オフィス向け宅配水事業をメインに、水処理工場の設計・輸出、ウォーターサーバーの販売及びメンテナンスサービス等を手掛ける

注) 2015年10月時点のデータによる
出所) 公開資料及びヒアリングよりNRI整理